寺崎組新聞

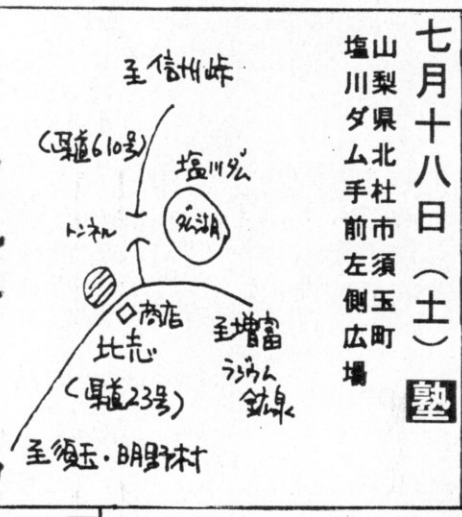
第百二十一号

発行所　寺崎組新聞社

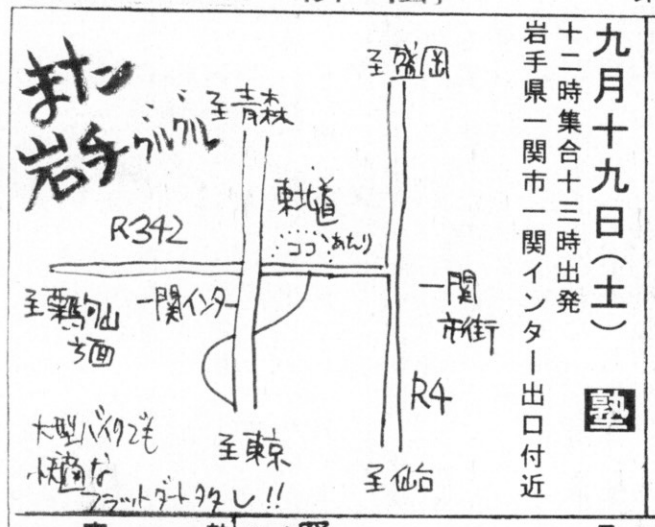
平成二七年度 組会地決定!!

五月三日（日）～五日（火）　宴
山梨県蓮崎市小武川林道奥
通称コンバットキャンプ場
組長が初日二日十二時から現地にいるはずです。

七月十八日（土）　塾
山梨県北杜市須玉町
塩川ダム手前左側広場

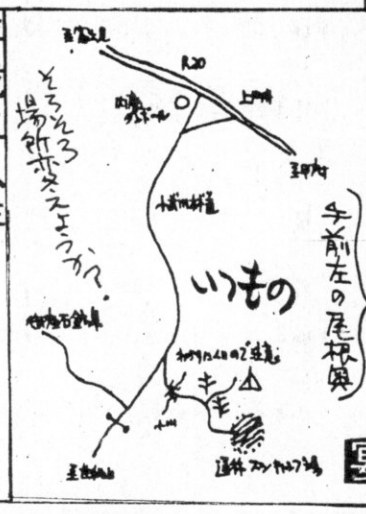


九月十九日（土）　塾
十二時集合十三時出発
岩手県一関市一関インター出口付近



十一月二十一日（土）　塾
十二時集合十三時出発
茨城県常陸太田市国道三四九号旧里美村道の駅さとみ

十二月十九日（土）～二十日（日）　宴
山梨県蓮崎市小武川林道奥
通称スシキャンプ場



平成二八年三月十九日（土）　塾
十二時集合十三時出発
静岡県浜松市市天竜区国道152・473号（重複国道）沿い遠鉄ストアー駐車場

塾　組長と一緒に走り、野宿する。酒・食料持参
参加費　一人　五〇〇〇円

宴　ただの野宿宴会。酒・食料持参
参加費　一人　三〇〇〇円

今回、初参加となります六川がレポートさせて頂きます。

さて組会当日。緊張と楽しみで前夜はなかなか寝付けませんでしたが、余裕をみて9時に自宅を出発！権兵衛トンネルの電工掲示板で6度。昨日よりは暖かいとはいえバイクだと当然寒い。木曽に出ればマシかな？などと考えつつ、19号へ合流。しかしまだ東の山から陽が当たらず、4度の表示。もっと寒いじゃないか！たまらず南木曽のコンビニで休憩。集合場所が分かるかな～と心配してたらコンビニに一発でそれと分かる2台を発見！WRとXR。（地下鉄さん、アベさんでした）恐る恐る近付くと誰だコイツは！と目が言ってます。小心者なのでちびりそうなのをこらえながら挨拶しました。幸い優しい方々で一緒に集合場所へ連れて行って下さるとの事。ありがとう御座います！

10分ほどで到着。おぉ～、皆さんカッコイイ！野宿ツーリングの匂いがプンプンします。緊張していてまともな挨拶が出来たか定かではありません。その後はベテランの方々のバイクや装備を見て周りました。そんな中、寺さんを見るとブーツが真っ白に輝いています。さすが寺さん、ブーツまで塗ってしまうとは！まるで新品だ！感動してしまいました。（後で本当に新品だと知り、自分の思い込みを恥じるのでした。すいません。）メットもオニューで何とフルフェイス！（Vクロス4）、黒色でバイザーが白いのがこれまた渋い。ゴーグルも新品かな？自称マニアとしては要チェックでした。

そんなこんなで時間となり、いよいよ塾がスタート。僕は集団の後ろの方で付いて行きます。舗装路をしばらく走り、いよいよダートへ突入。みなさん軽快に走って行きます。実は今回塾へ参加する大きな目的は、走り方を学ぶことでした。いつも一人なんでこんなチャンスはめったに有りません！離れると見れないので必死で付いて行きます。なのでここからは何処をどう走ったのかさっぱり覚えていません。？の神峠や恵北林道のあたりでしょうか。R257へと下り、本日の買出しはスマイル付知店です。僕はいつもはご飯だけ炊き、レトルトで済ませているので悩みます。おでんと惣菜、あとマグロの刺身を買いました。みなさんの買出しの量に驚きつつ、トイレで水を頂き出発です。いつもよりザックが重く走りにくい。まだまだ修行が足らんな～と思いました。

林道突入です。相変わらず物を感じさせない走りで、やっぱりスゲ～な！と思います。

一気に山を駆け上がり途中の広場が今夜のお宿となりました。1箇所が崖で「酔って落ちたらヤバイよね～」、など話しながらテントを張り、薪を集め、16時に宴会スタート。酔う前にと、自己紹介です。僕は酒が飲めないのですが、こういう雰囲気は大好きです。酔った時に人間性がよく分かるのでとても面白い。そのうち料理もどんどん回ってきます。どれも絶品で料理が出来ない自分は出来合いでごまかすのでした。オヤジギャグ連発、駅アナウンス、中島みゆきオンパレード等々、時間と共に皆さんテントへと消えて行きます。そんな宴も終盤、みんなの携帯から緊急地震速報が鳴り響きます。いつ聞いても　ドキッ！とする音です。長野県で地震発生！エッ！家は大丈夫か？電話したら南信にあるウチは大丈夫でした。こうして11時頃お開きとなり、みなさんのいびきをBGMに風も無く、塾初日の夜は更けていくのでした。

初日キャンプ地　行止まり林道の途中ガレ場（右は崖）

翌朝は6時に起床。まだ薄暗いけど天気がいいのはハッキリ分かります。ん～今日も絶好のツーリング日和だ。すでに寺さん始め何人かは朝食の支度をしています。寺さん、どうやら米を炊いているようです。コッヘルの上に缶詰、もしやこれがかの有名なさんまの蒲焼丼！うまそうでした。ズボラな僕はパンにベーコンエッグとコーヒーですがうまかったです。儀式も済ませ、撤収開始。黙々と方付けに入ります。記念撮影も終わり、2日目がスタート。　今日はどんな林道を走るんでしょうか？無理せず転ばないぞと密かに誓うのであります。途中の沢で水を汲み、一旦、舗装路に出ます。斉藤さんとはここでお別れ。遠い帰路ご無事に！次の林道目指し走ります。ここからが凄かった！自分が経験した事のないロング石ゴロゴロダート。地元で言ったら町道高嶺線の高遠側の下の辺りでしょうか？もう必死です！が、怖いけどこれがまた楽しい。そう思えるのは寺さんが手を入れたTTのおかげです。何度もヒヤッとしましたがバイクに助けられました。例によって着いて行くのに精一杯でどこをどう走っているのかさっぱり？です。途中広場で（土捨場？）で休憩。かなり広く、今夜の野宿地の候補となりました。時間はまだ10時過ぎ、さあ2本目スタートです。相変わらずガレてます。ベテランの方から見たらフラットダートなのでしょうか？うん、そうだよ。前を走るオガタさんの背中がそう言ってます。俺のラインなぞりな！とも。ハイ、そうさせてもらいます！そんなこんなで30分ほどで木曾越峠に到着。この時御岳の噴煙を噴火以来、初めて生で見ました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りました。

さて、しばらく走り林道の開けた道沿いで昼食です。僕は素ラーメン。景色が良いと相変わらず旨い。遥か下に見えるのはR257でしょうか？ん、下から2ストのエンジン音。バイクが上がってくる様です。皆さん敏感に反応してます。なんと3台とも2スト。ヤマハ2台とホンダ1台でしょうか？会釈をしながら行ってしまいましたが、上のゲートが閉まっているのでしばらくすると戻ってきました。一人近付いて来ます。「寺崎勉さんですか？」オフ車乗りはやはり知ってます。僕も同じ場面だったら同じように声を掛けたに違い有りません。しみじみ今塾に参加していることをかみ締める自分でした。

さて昼食も終わり走り始めます。走り始めてすぐに気付きます。マズイぞ、集中力が切れている！飯を食ったからでしょう。下りの減速でリヤを何度もロックさせてしまいます。ブレーキ遅れてるなあ、もっと手前からエンブレで減速するように心がけます。しばらく走るとゲートが現れました。ダイヤル式の南京錠が掛かっています。鍵の番号が看板に書いてあるか調べますが、書いて有りません。横に居たアベさん、「ヤクザ（893）だよ！」あたかも書いてあるように言い切ります。なんと開きました！奇跡です！スゲー！林道名は知りませんが通り抜けられるのは貴重のようです。ヘアピンが連続する下りが続きます。下のゲートには何故か鍵は有りませんでした。　途中で、ん？エンジンがボコつくぞ？この症状は！慌ててリザーブに切り替えます。（後で給油の時に計算したらリッター21．4キロでした）燃費わるいなあ。ナンバーに着くススを見るとちょっと濃いのかなあ。でもレスポンスはいいしパワーも出ている気がするから良しとしよう。R257に出ました。坂下R19方面との交差点を過ぎ、中津川方面へと直進して行きます。この辺の